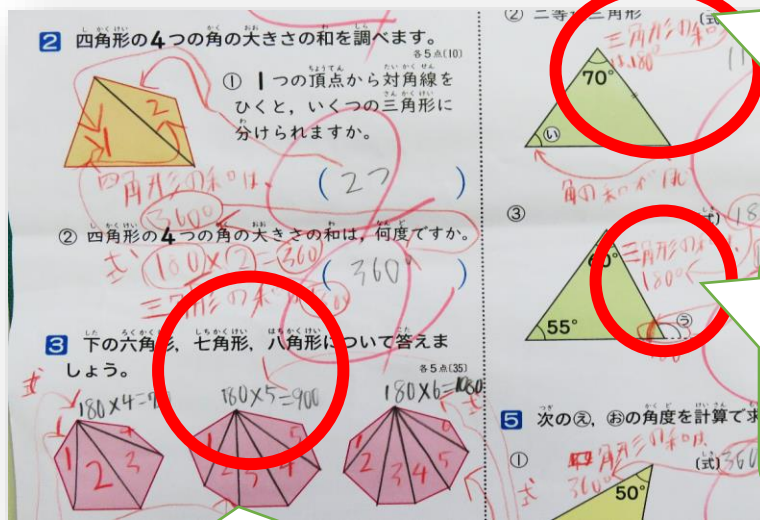


「見直して結果出る！」

児童がわくわくドキドキする時間の一つに、テストの時間が挙げられます。テスト中は、集中して問題を解き、終わった後も確かめをすることが習慣化している児童も多くいます。そんな児童が増えてうれしい中、今回は、ある児童のテストを紹介します。



【素敵ポイント①】
三角形の角の和が 180° であることを書き込んでいる。

【素敵ポイント②】
最後に 180° から求めた角度を引くことを忘れないように、図と式を結び付けている。

【素敵ポイント③】
三角形を見て数えるだけでなく、数字を書いて確認している。三角形の数が問題を解くポイントであるため、素敵な書き込みですね。

よく「うっかりミス」という言葉を耳にします。分かっているのに「書き間違い」「読み間違い」などをしてしまう「もったいない」と言われる間違いです。実力があるのに結果が出ないのは、こうした間違いが多いのではないのでしょうか。このテストをした児童は、テスト時間をいっぱい使って、このような素敵な見直しをすることで、裏表満点をゲットしました。「これでいいや！」の見直しでテストを提出するのではなく、「ここまでやったから大丈夫！」と思える見直しをして、テストを提出できる姿を次回も期待しています。

つながるボール と つながる心

9月の体育科の授業では、「ハードル走」と「ソフトバレーボール」をしています。レシーブやトスをつなげて、チームで何回続けることができるかに取り組んだり、ゲームをしたりしています。

はじめは、すぐにボールが下に落ちていましたが、足を動かしてボールを拾いに行ったり、声を掛け合ったりして、みんなでボールをつなぐことができるようになってきました。授業の中で、素敵な言葉を聞くこともできました。「大丈夫、大丈夫！」「ごめんね！」「次はいけるよ！」など、相手の気持ちを思いやる言葉です。失敗したときに、一言あると、(また次、頑張ろう。)と思えますよね。このような素敵な声が自然に交わされる5年生を見てうれしくなりました。

休憩時間も、外に出てソフトバレーボールを楽しんでいます。ソフトバレーを通して、技能だけでなく、心も成長している様子が伺えます。

